

(平成27年6月作成)

事務事業評価シート

(H.28)No.	1174	(H.27)No.	1174
-----------	------	-----------	------

事務事業名	日中スポーツ友好交流事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	合田 卓也	

会計区分	事業コード	521502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	日中スポーツ友好交流事業
項	保健体育費	(小事業名)
目	保健体育総務費	日中スポーツ友好交流事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	3	文化交流
	小施策	2	国際交流の推進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民一人ひとりの心豊かな人間形成と郷土を愛する心情の育成を目指し、スポーツを通じて積極的な活動を推進していくための一環事業として、中国・蘇州市とスポーツ友好交流を実施することにより、国際的視野を広めさせるとともに相互理解と友好交流を深めます。
事業内容
平成14年度から始まった中国蘇州市とのスポーツ交流を実施します。名張市スポーツ少年団が事業主体となり、招待・派遣を隔年ごとに実施し、本年度は招聘を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	日中スポーツ友好交流事業負担金 平成27年度は受入なし	日中スポーツ友好交流事業負担金 500千円	日中スポーツ友好交流事業負担金 300千円	日中スポーツ友好交流事業負担金 500千円	日中スポーツ友好交流事業負担金 300千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	0千円	500千円	300千円	500千円	300千円
内訳 (千円)	国・県支出金				
	地方債				
	その他(諸収入)		500		
	一般財源	(0)	0	300	500
人工数	職員	0.00人	0.16人	0.11人	0.11人
	臨時職員等		0.02人		
②概算人件費	(0千円)	0千円	1,250千円	836千円	836千円
①+②総事業費	(0千円)	0千円	1,750千円	1,136千円	1,136千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成20年度より社会情勢により中断していた交流事業(派遣)を、平成24年度より再開できました。団体相互間で情報共有を行い、平成26年度には空手道スポーツ少年団(団員8名)を派遣し蘇州市と交流しました。	蘇州市との交流事業が再開できたことから、今後も継続的に日中間のスポーツ交流を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	日中スポーツ交流を実施することにより、青少年の国際的視野を広め、スポーツを通じて相互理解を進めることができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	スポーツ少年団を中心として活動を実施しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市総合計画 第1次基本計画
日中スポーツ友好交流は、青少年の国際的視野を広げるとともに、これまで培ってきた蘇州市との友好関係を継続する上で一定の役割を果たしてきたところであり、今後も継続した取組が必要です。	